

昔へタイムスリップ！名前調査隊Ⅱ

入門姓名録から時代を読む

土浦第五中学校 二年 佐藤 菜生花
佐藤 理紗子



子ども郷土研究は、調査、研究を通して郷土の歴史や文化について関心を持ち、郷土「つちうら」への理解を深めることを目的に実施しています。今回は12点の応募作品の中から最優秀賞に選ばれた作品をご紹介します。（一部省略）
作品は2月15日(日)まで上高津貝塚ふるさと歴史の広場で展示しています。

圃 上高津貝塚ふるさと歴史の広場(☎826・7111)

●研究の動機

私たちは、小学六年生の時に現在から江戸時代までの一般の人の名前を調べ、その時の流行や時代背景などを知ることができました。この調査の時に沿尻墨徳の開いていた私塾の入門姓名録の存在を知り、女性の名前を調べました。さらに男性の名前も調べたいと思ひ、もう一度郷土研究に挑戦することになりました。

●研究の方法

- ・入門姓名録の図書資料を調べる。
- ・インターネットを活用したり、博物館へ行ったりして調べ、表計算ソフトを使って分類する。
- ・前回の郷土研究でまとめた内容と比較する。
- ・江戸時代の学校と現代の学校について調べ、比較する。
- ・沿尻墨徳ゆかりの地に行き調べる。

●研究の内容

〔一〕入門姓名録について
入門姓名録は、沿尻墨徳の塾に入門した生徒の名前を入門した順に記録したものです。

〔二〕表計算ソフトを活用しての分類
入門姓名録に書かれている内容（入門年月、出身地、保護者名、苗字、屋号、保護者の職業、名前(前半・後半部分)、入門時の年齢など）をパソコンで打ち込みました。出身地は現在のどこなのか、地名か屋号かなど、打ち込むうちに疑問点は増えました。

〔三〕入門生の名前について
①名前の後半部分から
例えば、名前の「金二郎」部分を前半部分の「金」と後半部分の「二郎」に分けます。

名前の後半部分は「吉」が多かったです。これは、この子に吉(良い)こと(あります)よつにとの親の願いから、

多く付けられたのではないかと考えました。また、○太郎や○次郎など、生まれた順番を表すものも多く使われています。その他にも○松はいつも緑の松のように元気な子に、○蔵は蔵を建てられるくらい裕福な子にという願いが込められているのではないかと考えました。

前回調べた、入門姓名録の時代に近い元文中の大人の名前と比較してみます。大人でよく見られた○兵衛や○右衛門という名前は、入門生の名前にはなく、当時の大人と子ども名前では大きな違いがあることがわかりました。

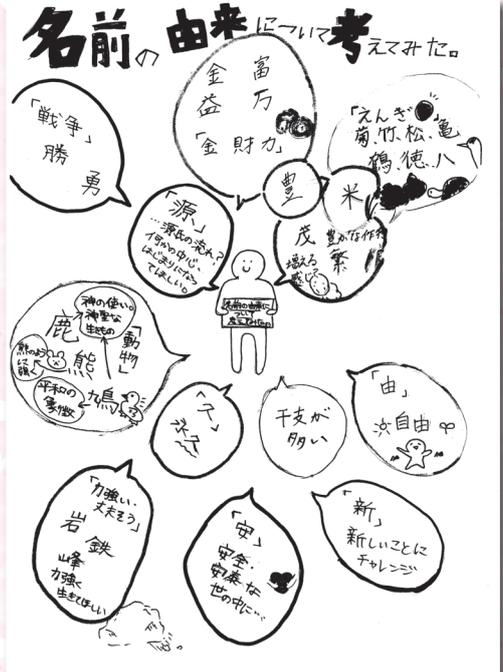
②名前の前半部分から

多く使われている順に吉、徳、金、亀、豊、文、松などがありません。名前の前半部分には、縁起の良いもの(菊、竹、松など)、干支や動物(子、丑、寅、鹿、熊など)、作物や稔りを感じさせる

もの(米、茂など)、財力を感じるもの(金、富など)、頑丈な感じのもの(岩、鉄、峰)などがありました。やはり、健やかにそだってほしい、丈夫にそだって、豊かな生活をしてほしいという、親の願いが込められていると思えました。

No.	人数	名前	割合
1	87	吉	16.9%
2	84	助	16.3%
3	59	次郎	11.5%
4	51	太郎	9.9%
5	49	蔵	9.5%
6	43	松	8.3%
7	32	二郎	6.2%
8	27	三郎	5.2%
9	17	五郎	3.3%
10	16	次平	3.1%
11	8	平	1.6%
12	7	治、弥	1.4%
13	5	三、八	1.0%
14	4	十、七、作	0.8%
15	3	十郎	0.6%
16	2	四郎	0.4%
17	1	部、恵、順、克、貞、平、治、八、十一、紅、伯、庫	0.2%

名前の後半部分ランキング



名前の前半部分の由来

③家印について

「土浦市史民俗編」によると、「家印は、家ごとに所有をあらわす標識すなわち占有標の一つで家財を対象とし家具、農機具、下駄、その他の諸道具などに墨書をしたり、刻印、焼印の類を押ししたりした」と書かれていました。入門姓名録には十種類の家印が書かれていました。

④屋号について

入門姓名録には、屋号と思われるものが118種類書かれています。共通点から、縁起物、国名、州名、地名、神仏、職業、数字、その他に仲間分けしました。

⑤二一御茶奉納額との比較

その額は真鍋の八坂神社に嘉永6(1853)年に奉納され、入門姓名録の書かれた時代とも重なります。比べると、いくつか名前が一致しました。額を奉納できるぐらいなので、家もある程度は経済的に余裕があり、沼尻墨僮の塾へも通わせられたのだと思います。

⑥保護者の職業から

保護者の職業についてはあまり書かれていません。しかし、油職人、角力、鍛冶、神職、神主、左官、大工、馬喰、船大工、名主などの記載がありました。中でも大工が多かったです。この時代になると教育に関心をもつ人が増えたのだと思います。

⑦出身地から

出身地は、北は水戸市、東は鉾田

市、西は古河市、南は千葉県の香取市という広い範囲であることが分かります。

⑧年齢、入門年齢の違い

入門する決まった年齢はなかったようです。最も小さくて5歳、大きくて18歳、多いのは7歳でした。

⑨入門する日

現在は4月初めですが、入門した日はまちまちです。年の終わりに近い11月と12月、年の始まりの1月と2月に多いことがわかりました。

⑩年別入門者数

入門姓名録には、享和3(1803)年から安政3(1856)年までの入門者の名前が書かれています。年により入門者数が違ってきます。

⑪江戸時代の学校について

江戸時代の武家の教育機関が「藩校」、庶民の教育機関が「寺子屋」です。藩校と寺子屋のほかにも郷校や私塾などがあり、墨僮は寺子屋ではなく私塾として「時習齋」、のちに「天章堂」と名付けました。

⑫沼尻墨僮ゆかりの場所

「中城周辺」から歩き地図を見ながら、沼尻墨僮の塾のあった場所やお墓に行ってみました。

●まとめと感想……

前回の調査で土浦でも土浦藩にお金を貸すほど裕福な商人が現れてきました。土浦が城下町として、商人の町としてにぎわいを増す

に從って、生活にも余裕ができ、実用的な知識を身に付ける場としてこのような塾が必要になってきたのだと思います。今回の研究では、入門姓名録をきっかけ

に次々に疑問が見つかりました。まだ調べきれなかったこともありましたが、私たちは満足しています。



■最優秀賞

昔へタイムスリップ! 名前調査隊II ～入門姓名録から時代を読む～	土浦五中 (2年)	佐藤菜生花 佐藤理紗子
--------------------------------------	-----------	----------------

■優秀賞

ぼくの通学路も通っていた!? ～土浦を通った大名行列～	真鍋小 (6年)	大山颯介
すずりと土浦文字文化	荒川沖小 (6年)	矢花瑞帆
土浦市沖宿町の歴史 文化財 年中行事	上大津東小 (4年)	山口優一
桜と地名から土浦を知る	右 初小 (6年)	沼尻奈々 沼尻泰輝

■優良賞

進め! 歴史ある帆引き船	土浦小 (4年)	栗原佐和 木村愛梨 菊地郁帆
わたしの住んでいる山ノ荘の宝物	山ノ荘小 (3年)	黒澤枝里子
ぼくの街の「足」	土浦四中 (2年)	吉岡朋良
石仏に込められた願い	土浦五中 (2年)	萩原ゆうた 雄太

■努力賞

江戸時代の城と庭園と隠居 ～亀城公園と偕楽園と西山荘を歩いて～	荒川沖小 (5年)	塩谷わか菜 若菜
土浦の歴史的な建造物	菅谷小 (5年)	中山花菜 萩原七海
平和のための自衛隊	土浦四中 (2年)	樽見悠斗 小松崎龍我 生井沢樹 木村龍治 田中謙治

■学校賞 / 土浦第五中学校